

2005.8.15  
vol.199



大阪自治体労働組合総連合 2005年8月15日 No.199

発行人 町田 豊治／編集人 樋口 和弘  
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15大阪グリーン会館4F ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206  
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp  
URL: http://www.osaka-jichiroren.jp

世界の人たちと  
被爆60年の誓いを  
刻む広島の日



## 2005年原水爆禁止世界大会 核兵器のない明日へ

8月6日、原爆ドーム前には、世界のいろんな人が書いた木片が積んであった。空いたスペースにそっと、平和への願いを記入する。

「守口市が学童保育指導員の『雇い止め』を申し入れ」守口市学童保育指導員労働組合(2・3面)  
/「原水爆禁止2005年世界大会に参加して」池尾 剛さん(4・5面)/自慢の一品「東大阪市一豆玩舎ZUNZO」(6面)/さわやかな風「潜って見る海底は別世界」壱岐和江さん(吹田市職労)



今月号の  
紙面から

編集後記

2005.8.15

靖国神社の「遊就館」という軍事博物館に行ってきました。玄関ホールには、戦闘機・ゼロ戦が飾られ、日

清、日露戦争から太平洋戦争まで、日本の戦争は正しい戦争だったという立場で歴史を紹介。侵略戦争を強く批判するのがよくわかった。

おおさかじちたいのなかま



199

壱岐 和江さん  
(吹田市職労)



ダイビングの魅力にひかれ  
使ったタンク300本

10年前にオーストラリアでシュノーケリングをして、カラフルな魚と神秘的な海の美しさに感動して、日本に帰ってすぐに認定証を取得したのが、ダイビングを始めたきっかけ。プールでは25メートルくらいしか泳げないにもかかわらず、それ以来、ダイビングにはまって毎月行ったこともあった。今は潜りに行くのは年3回ぐらい。始めた頃は和歌山県の串本が中心で、使ったタンク数50本ぐらい潜った。その後は、沖縄、石垣島と続き、海外にも時々出かける。今年の正月は5泊6日で、グアム・サイパンの南にあるパラオへ行き、色鮮やかな魚や珊瑚礁が今でも眼から離れない。現在タンク数約300本というから、約300時間は海底に潜っていたことになる。その技術もあるが、使ったお金は旅費も含め相当なもので、こづかいのほとんどをダイビングに使っている。

「海底はとにかく別世界。海の中はとてもきれいで魚たちを見ているとあつという間に時間が過ぎていきます。このすばらしい景観は潜らないと見れ

潜つて見る  
海底は別世界

沖縄の美しい海を守ってほしい

ません」とダイビングの良さを強調する。「こんな魚を見たなど、潜った後の交流も楽しいですよ。ダイビングを通じて多くの仲間ができたことも良かった」と付け加える。

### 次の夢はカリブ海で潜ること

始めた頃は、マスククリアというマスクの中に入った水を出す動作や耳抜きが苦手だったが、今ではそれもできるようになり、技術も向上した。潜る時はインストラクターといっしょに潜り、海が荒れているときは無理をして潜らないという安全堅実派だが、一度、潜水から上がってボートが動かず流されるという怖い経験もしたことがある。

時間ができれば、冬でも沖縄や海外に出かけて行って潜るという、本当に



沖縄本島にて3人で水中散歩を満喫



「アジア解放の戦争だった」と描く。  
アジア各国が首相の靖国神社参拝を  
強く批判するのがよくわかった。

第199号